

【校長室便り】

No. 2

H30年4月10日 (火) 土佐町小中学校 谷内宣夫

始業式あいさつ!



みなさん進級おめでとうございます。

新しく校長として、中土佐町の久礼中学校から赴任してきました谷内宣夫です。17年前に土佐町中学校で勤務していたのでお父さんやお母さんで知っている人もいると思います。



今年は、小学生153名、中学生70名総勢223名の児童生徒の皆さん、土佐町小中学校の小学校13名・中学校19名の先生方と14名の支援員・サポーターさんの合計46名の全教職員は、皆さんの学習面や生活面でのサポートをしっかり行い、だれもが安心していろいろなことに全力投球できる学校を作り上げることができるよう頑張ります。



生徒と教職員が笑顔で過ごすことができる土佐町小中学校を作っていきます。

皆さんに3つのことを伝えたいと思います。



上級生は下級生のモデル

1つ目は、上級生は下級生の良い見本となってほしいということです。上級生がしっかりして、頑張っている学校は、落ち着いて勉強に取り組み、部活動や行事などでも活発になり成果も上がっていきます。



下級生の皆さん「上級生のやることをよく見てまねをしてください」新生にも上級生のがんばっているところをまねるよう、この後の入学式で伝えます。「上級生は常に下級生から見られている。自分の発言や行動がまねされるものと思って毎日の学習や生活に取り組んで下さい」。モデルとなる中学生が良ければ良いほど小学生も良くなります。頑張っている上級生の姿や態度を見ると、自然に下級生は憧れを持つでしょうし、尊敬もされるでしょう。先生方も皆さんから、尊敬されるように頑張っていきます。先生方の頑張っている姿

や手本となる言動をよく見て、良いことをまねてほしいと思っています。



上級生のみなさん、下級生のお手本となる行動をして尊敬される存在になってください。



心をみがいてください

2つ目は、いろいろなことにチャレンジし自分の心をきたえ、みがいてほしいということです。人間の心は、みがけばみがくほど光ってきます。きたえればきたえるほど強くなります。いたわれればいたわるほど優しくなります。人間の心はつきつめればつきつめるほど、すごさがふえてきます。

自分の限界に挑戦し、自分の心を大きく成長させてください。そのためには、毎日の授業や係の仕事、掃除など自分に与えられた役割を一生懸命にはたそうと努力することです。次にまわりのことを考えて、みんなが気持ちよくなるためのことを少しやってみることで、みんなから「ありがとう」と言われるとうれしいですね。いろんなところで頑張っている皆さんをほめたいと思っています。いろんな「便り」で記事として取り上げます。

輝いている姿を見せてください。



美しい言葉がいきかう学校

3つ目は「美しい言葉がいきかう学校」づくりに取り組んでほしいということです



「おはようございます」などの元気のよい挨拶や「はい」という返事、「ありがとう」など聞いて気持ちのよい言葉があふれるようになってほしいと願っています。また、目上の人に対する敬語やTPOをわきまえた言動など、高校や社会に出て恥をかかないですむ常識も身につけていきましょう。1年間は「あっ」という間に過ぎ去っていきます。全員に平等に与えられている「時間」を大切に、社会に通用する人間と成長して下さい。

皆さんの頑張りを期待しています。

以上で始業式の式辞を終わります。

